

令和7年度 学生FD CHAmmiT 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生意見の集約

[illegible]

学部で対応可能な意見

※学生FD CHAmiT当日、以下の内容を基に、参加学生からご説明いただきます。

学生からの意見（学部・学科の問題点）		対応済	対応中	問題解決のプロセス
1	【意見】 食堂・購買の充実（学生ホールなど食事がとれる環境も含める）		○	【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 ・キャンパスライフの充実 ・対外的なアピールポイントとなる ・学生の居場所ができる
	【理由・経緯】 落ち着いて食事ができる場所が少なく、2400名の学生に対して食堂は200名程度の収容である。あわせて学内の購買も昼食時には長蛇の列ができています。			【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 ・他キャンパス及び他大学の事例 ・具体的なニーズ調査
				【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 ・学部およびキャンパス単位での予算編成。 ・充実させるための方策協議の場を設ける必要があり、方向性決定までの時間を要する。
2	【意見】 運動、指導などの実践を伴う授業の増加		○	【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 ・知識の活用法などを知ることができる ・即戦力の人材育成に寄与できる
	【理由・経緯】 得られた知識を活かしてみることのできる環境が欲しい。			【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 ・実践経験が豊富な教員の採用 ・実践現場の提供および環境整備
				【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 ・実践現場などの環境をどのように整えるか ・実践のレベルによってはそれに見合う学生かどうかの判断を個別に確認していく必要がある
3	【意見】 充電スポットの設置		○	【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 ・デジタルデバイスの充電不足などの不安解消 ・使用エリアを決めることで学生が迷うことがなくなる
	【理由・経緯】 デバイスが配布されていることもあり、教室の電源などを使ってよいのか迷う時がある			【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 ・教室など机に充電できるコンセントやケーブルなどの設置 ・授業時間外でも対応可能なスポットの設置
				【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 ・環境を整備するための予算編成